



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヨコオ

コード番号 6800 URL <http://www.yokowo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 横尾 健司

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-3916-3111

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,430	10.2	259	△53.3	348	△18.0	358	72.9
25年3月期第2四半期	14,904	12.9	555	78.9	424	—	207	—

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 943百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △393百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	17.92	—
25年3月期第2四半期	10.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	25,671		17,216		67.1
25年3月期	24,140		16,373		67.8

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 17,216百万円 25年3月期 16,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	9.5	850	60.6	750	△22.1	620	3.6	30.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	20,849,878 株	25年3月期	20,849,878 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	844,888 株	25年3月期	844,788 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	20,005,032 株	25年3月期2Q	20,005,254 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新興国経済の減速に歯止めがかかり、欧州経済に底入れ感が出てきた一方で、米国内の財政問題が大きなりスクとして顕在化するなど、不安定要素を抱えながらも総じて緩やかな成長が続いております。

わが国におきましては、いわゆるアベノミクスの諸施策の影響で超円高を脱し、輸出企業等の業績改善や景況感の好転など足元で明るさが出ているものの、来春の消費税増税に伴う景気の腰折れが懸念されるなど、先行きは予断を許さない状況にあります。

当社グループの主要市場である自動車市場、半導体検査市場、携帯端末市場におきましては、成長を牽引する環境対応車やスマートフォン／タブレット端末関連分野での覇を競って熾烈な競争が繰り広げられており、世界シェア上位が容易に変わり得る状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、中期経営基本目標の一つである「連結売上高300億円への回帰」の実現とさらなる収益力向上に向けて、経営基本方針に掲げる3つのイノベーション（プロダクト／プロセス／パーソネル）の推進に取り組んでおります。当第2四半期におきましては、マレーシア工場への生産移管の進捗遅れをほぼ挽回し、回路検査用コネクタセグメントにおける収益改善を推進いたしました。また、主力生産拠点化を推進中のベトナム工場は、前四半期に引き続き品質確保のためのコストがかさみましたが、下期以降の収益体質改善に向けて一定の目処をつけるとともに、次期以降の業量拡大に対応するべく第2期拡張工事に着手いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、無線通信機器セグメントの対前年同期の伸長率が鈍化いたしました。車載通信機器セグメント及び回路検査用コネクタセグメントが順調に伸長したことにより、164億3千万円（前年同期比+10.2%）となりました。営業損益につきましては、製品・事業構成の変化などによる利益率低下、中国における労務費増加、ベトナム工場でのコストアップ、その他一時的費用の発生などにより、2億5千9百万円の利益（前年同期比△53.3%）と、前年同期比で大幅な減益となりました。経常損益につきましては、円安進行・定着に伴う為替差益6千8百万円の計上などがあったものの、営業減益を受け、3億4千8百万円の利益（前年同期比△18.0%）と、前年同期比で減益となりました。四半期純損益につきましては、固定資産除却損など特別損失1千万円を計上したものの、税金費用の大幅な減少により、3億5千8百万円の利益（前年同期比+72.9%）と、前年同期比で大幅な増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<車載通信機器>

当セグメントの主要市場である自動車市場は、中国・インド・ブラジルなど成長が続く新興国市場と、回復軌道に乗った米国市場に牽引され、着実に拡大を続けております。一方、国内におきましては、米国・アセアン向けを中心に輸出が増加いたしました。前期に実施されたエコカー補助金制度の反動減で国内の新車販売は減少いたしました。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるマイクロアンテナをはじめとする自動車メーカー向け製品は、米国向けを中心に海外向けの販売が順調に推移し、前年同期を上回りました。また、国内向けを主とするフィルムアンテナの販売は、ディーラーオプション向けの伸長などにより、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は98億8千7百万円（前年同期比+13.8%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、3千1百万円の利益（前年同期比△84.2%）となりました。

<回路検査用コネクタ>

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、パソコン向けの検査需要は減少に歯止めがかからない状況にありますが、世界的な普及拡大が続くスマートフォン／タブレット端末向けやクラウドコンピューティング向けは順調に拡大するものと見られております。

このような状況の中、一部の製品が国内顧客からの受注減少などにより前年同期を下回ったものの、当社グループの主力製品であるIC検査用BGAソケットの販売が、スマートフォン／タブレット端末向け検査需要の積極的な取り込みなどにより順調に推移し、前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は30億6千1百万円（前年同期比+7.6%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、1億2千8百万円の利益（前年同期比△35.4%）となりました。

<無線通信機器>

当セグメントの主要市場である携帯端末市場は、順調に利用拡大が進むスマートフォン／タブレット端末に牽引され成長が続いておりますが、新興メーカーや他業種大手企業などの参入が相次ぎ、シェア争いの激化とともに低価格化が進行しております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、海外大手顧客からの受注が一時回復後減少に転じ、売上高は前年同期を若干上回るにとどまりました。

携帯電話機向けアンテナ事業につきましては、海外大手顧客からの受注が急減し、売上高は前年同期を下回りました。

当セグメントに含めておりますメディカル・デバイス事業につきましては、一部顧客の生産調整の影響を受けたものの、ガイドワイヤユニットなど組立加工ビジネスの着実な拡大により、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は34億8千2百万円（前年同期比+3.4%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、1億1百万円の利益（前年同期比△57.9%）となりました。

（事業セグメント別連結売上高）

（単位：百万円、%）

	前年度上期	前年度下期	当年度上期	前年同期比	前半期比
	自平成24年4月 至平成24年9月	自平成24年10月 至平成25年3月	自平成25年4月 至平成25年9月		
	売上高	売上高	売上高	増減率	増減率
車載通信機器	8,690	8,120	9,887	+13.8	+21.8
回路検査用コネクタ	2,845	2,466	3,061	+7.6	+24.1
無線通信機器	3,367	3,724	3,482	+3.4	△6.5
合計	14,904	14,311	16,430	+10.2	+14.8

(2) 財政状態に関する説明

（総資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金減少8億4千3百万円などに対し、売上債権増加7億5千5百万円、たな卸資産増加5億3千5百万円、有形固定資産増加5億1千4百万円、投資有価証券増加4億6千2百万円などにより、256億7千1百万円（前連結会計年度末比15億3千万円の増加）となりました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、仕入債務減少7千4百万円などに対し、短期借入金増加6億円、賞与引当金増加5千3百万円などにより、84億5千4百万円（前連結会計年度末比6億8千7百万円の増加）となりました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純利益3億5千8百万円の計上、為替換算調整勘定増加2億9千2百万円、その他有価証券評価差額金増加2億9千2百万円、配当金の支払1億円などにより、172億1千6百万円（前連結会計年度末比8億4千3百万円の増加）となりました。

（自己資本比率）

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は67.1%（前連結会計年度末比△0.8ポイント）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、27億6千6百万円（前年同期比9億2千8百万円の減少）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権増加6億3千8百万円、たな卸資産増加4億4千8百万円などの減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益3億3千7百万円、減価償却費7億5千万円などの増加要因により、2億7百万円の支出（前年同期比16億4百万円の収入減少）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出10億1千1百万円、無形固定資産の取得による支出9千万円などにより、11億2千7百万円の支出（前年同期比1億1千5百万円の支出増加）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額6億円の増加要因がありましたが、リース債務の返済による支出1億4千6百万円、配当金の支払額1億円などの減少要因により、3億5千2百万円の収入（前年同期比7億2千万円の支出減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、前回（平成25年5月14日）公表の業績予想値に対し、売上高が大幅に上回りましたが、営業利益及び経常利益は大幅に下回る結果となりました。これを踏まえ、主要市場・主要顧客・為替相場の動向なども勘案し、通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。なお、前提とする為替レートは、1米ドル=90円（前回予想時は85円）に変更しております。

詳細につきましては、本日（平成25年11月13日）公表の「平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（単位：百万円、%）

	前回業績予想 (平成25年5月14日公表)	今回修正業績予想 (平成25年11月13日公表)	増 減	増 減 率
売 上 高	31,000	32,000	+1,000	+3.2
営 業 利 益	1,200	850	△350	△29.2
経 常 利 益	930	750	△180	△19.4
当 期 純 利 益	620	620	—	—

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,609,895	2,766,498
受取手形及び売掛金	6,154,856	6,909,897
商品及び製品	1,542,262	2,112,572
仕掛品	395,112	182,500
原材料及び貯蔵品	1,502,023	1,679,648
その他	1,003,937	1,061,337
貸倒引当金	△1,804	△5,469
流動資産合計	14,206,282	14,706,984
固定資産		
有形固定資産	6,471,760	6,985,808
無形固定資産		
その他	990,318	937,201
無形固定資産合計	990,318	937,201
投資その他の資産	2,472,526	3,041,328
固定資産合計	9,934,604	10,964,338
資産合計	24,140,887	25,671,322
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,514,400	3,439,428
短期借入金	500,000	1,100,000
未払法人税等	136,294	143,455
賞与引当金	338,757	392,586
その他	1,541,142	1,565,692
流動負債合計	6,030,594	6,641,163
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
退職給付引当金	276,256	253,792
その他	960,103	1,059,407
固定負債合計	1,736,359	1,813,199
負債合計	7,766,954	8,454,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	9,106,477	9,364,944
自己株式	△991,203	△991,256
株主資本合計	16,093,471	16,351,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,662	553,012
為替換算調整勘定	19,799	312,060
その他の包括利益累計額合計	280,461	865,073
純資産合計	16,373,933	17,216,959
負債純資産合計	24,140,887	25,671,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	14,904,102	16,430,321
売上原価	11,729,660	13,252,588
売上総利益	3,174,442	3,177,732
販売費及び一般管理費	2,618,627	2,918,157
営業利益	555,815	259,574
営業外収益		
受取利息	3,157	3,297
受取配当金	21,007	21,888
為替差益	—	68,356
その他	28,028	20,397
営業外収益合計	52,193	113,939
営業外費用		
支払利息	17,009	16,281
支払手数料	8,818	5,519
為替差損	146,167	—
その他	11,277	3,285
営業外費用合計	183,273	25,087
経常利益	424,734	348,426
特別利益		
固定資産売却益	644	83
投資有価証券売却益	417	—
特別利益合計	1,062	83
特別損失		
固定資産売却損	344	145
固定資産除却損	10,184	10,635
投資有価証券評価損	370	—
特別損失合計	10,898	10,781
税金等調整前四半期純利益	414,898	337,728
法人税、住民税及び事業税	193,985	95,153
法人税等調整額	13,626	△115,918
法人税等合計	207,612	△20,764
少数株主損益調整前四半期純利益	207,285	358,493
四半期純利益	207,285	358,493

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	207,285	358,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△280,351	292,350
為替換算調整勘定	△320,555	292,261
その他の包括利益合計	△600,907	584,611
四半期包括利益	△393,621	943,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△393,621	943,104
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	414,898	337,728
減価償却費	572,875	750,491
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△435	3,363
賞与引当金の増減額(△は減少)	56,243	53,330
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,708	△22,464
受取利息及び受取配当金	△24,164	△25,185
受取保険金	△14,582	△1,137
支払利息	17,009	16,281
為替差損益(△は益)	134,495	△95,873
固定資産売却損益(△は益)	△300	62
固定資産除却損	10,184	10,635
投資有価証券売却損益(△は益)	△417	—
投資有価証券評価損益(△は益)	370	—
売上債権の増減額(△は増加)	251,653	△638,919
たな卸資産の増減額(△は増加)	△192,330	△448,447
仕入債務の増減額(△は減少)	145,490	△112,292
その他	18,280	36,181
小計	1,387,560	△136,244
利息及び配当金の受取額	24,164	25,185
利息の支払額	△14,922	△16,166
保険金の受取額	14,582	1,137
法人税等の支払額	△14,534	△81,349
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,396,851	△207,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△705,969	△1,011,353
有形固定資産の売却による収入	1,385	2,271
無形固定資産の取得による支出	△304,917	△90,037
投資有価証券の売却による収入	19,217	—
その他	△21,599	△27,918
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,011,883	△1,127,037
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	—
リース債務の返済による支出	△146,031	△146,890
配当金の支払額	△121,089	△100,127
その他	△26	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△367,147	352,928
現金及び現金同等物に係る換算差額	△152,625	138,150
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△134,805	△843,396
現金及び現金同等物の期首残高	3,830,100	3,609,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,695,295	2,766,498

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,690,800	2,845,650	3,367,651	14,904,102	—	14,904,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	85,879	—	85,879	△85,879	—
計	8,690,800	2,931,529	3,367,651	14,989,981	△85,879	14,904,102
セグメント利益	198,131	198,106	241,092	637,330	△81,515	555,815

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	637,330
たな卸資産未実現利益調整額	△42,049
たな卸資産評価減調整額	△20,858
その他調整額	△18,607
四半期連結損益計算書の営業利益	555,815

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,887,274	3,061,035	3,482,010	16,430,321	—	16,430,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	115,124	—	115,124	△115,124	—
計	9,887,274	3,176,159	3,482,010	16,545,445	△115,124	16,430,321
セグメント利益	31,344	128,025	101,501	260,871	△1,296	259,574

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	260,871
たな卸資産未実現利益調整額	△37,824
たな卸資産評価減調整額	△9,829
その他調整額	46,357
四半期連結損益計算書の営業利益	259,574